

かわの情報誌



特集

近畿地方整備局

土木の職場で働く女性たち

三重県

神宮式年遷宮

堺市

環濠都市・堺市の面影を残す内川・土居川

奈良県

第19回みんなのかつぱ教室を開催しました！！

2013 秋号

NO. 83

さらさ復刊号

かわの情報誌 “さらさ” 第83号

ページ

特集

4 **土木の職場で働く女性たち・・・** (A)

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 中辻 忠

6 **神宮式年遷宮・・・** (B)

三重県 県土整備部 河川・砂防課 山田 正志

7 **環濠都市・堺市の面影を残す内川・土居川・・・** (C)

堺市 建設部 土木部 河川水路課 小川 未央

8 **第19回みんなのかっぱ教室を開催しました！！・・・** (D)

奈良県 県土マネジメント部 河川課 松本 邦治



トピックス

10 **天ヶ瀬ダム再開発事業起工式を開催・・・** (E)

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 本村 洋介

12 **切目川ダム定礎式・・・** (F)

和歌山県 県土整備部 河川課 田原 俊嗣

14 **日野川五大引堤・・・** (G)

近畿地方整備局 福井河川国道事務所 上平 拓弥

16 **大門ダム完成・・・** (H)

奈良県 県土マネジメント部 河川課 松本 和大



INFORMATION

18 **“大地の川”と“天の川”**

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 今須 重明

19 **府県、政令市への維持管理に関する技術支援体制の充実**

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 西村 信彦

20 **災害対策等緊急事業推進費について**

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 中村 大輔

21 **武庫川の天然アユの産卵場づくり・・・** (I)

兵庫県 阪神北県民局 里山・環境課 山崎 卓三

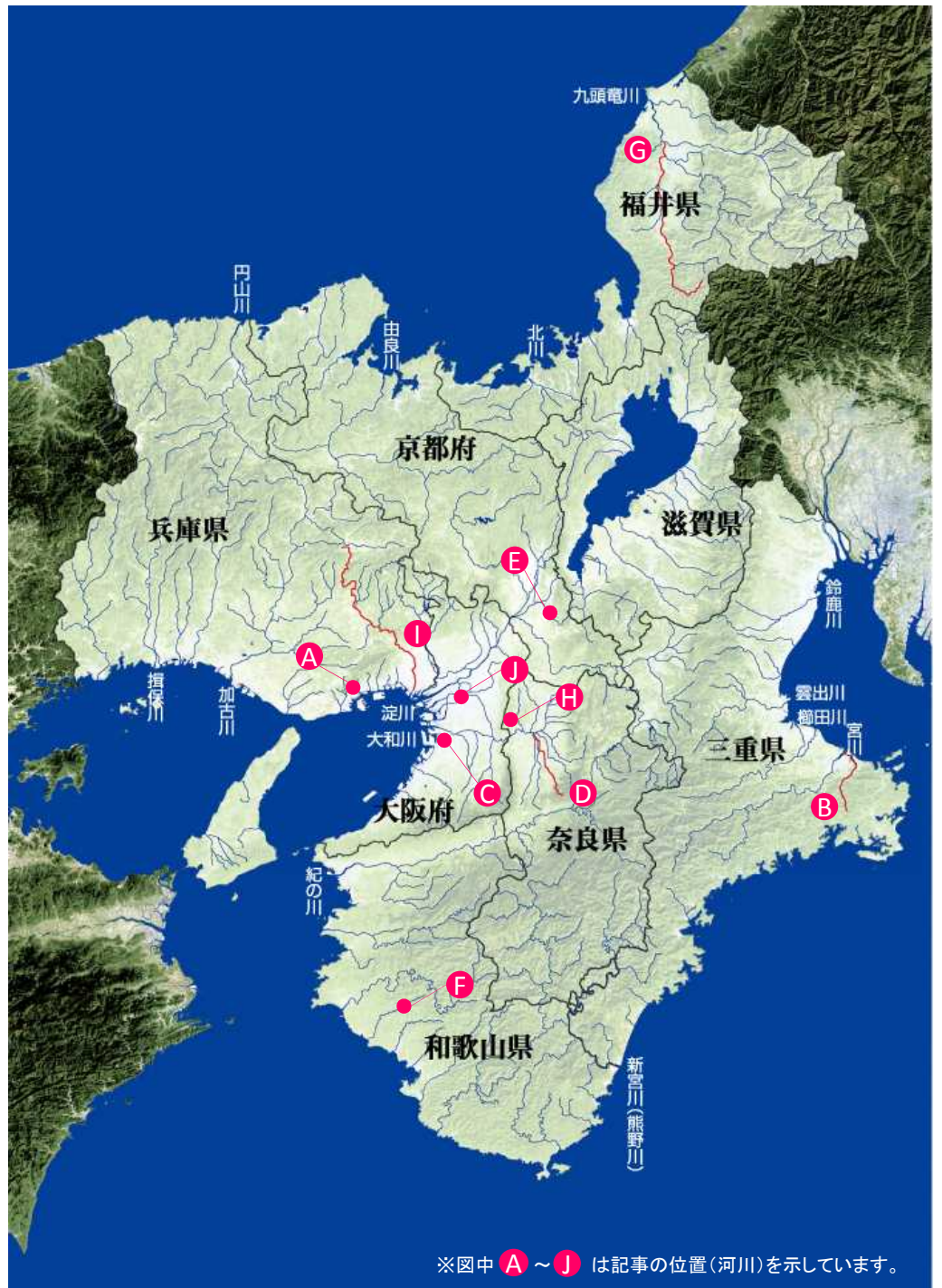
22 **イベント情報**

24 **ご当地掲示板 ～川の駅はちけんや～・・・** (J)

表紙写真



八軒家（大川）
はらげんや
江戸時代、天神橋と天満橋に挟まれた大川南岸が八軒家と呼ばれました。八軒家には京都と大阪を結ぶ船着場があり、貨客輸送のターミナルでした。また、熊野街道の起点でもあり、交通の要衝として古くから賑わっていました。現在も船着場が整備され、水の都大阪の拠点として賑わいをみせています。



※図中 A ~ J は記事の位置(河川)を示しています。

“さらさ”は、近畿管内の各府県（三重県含む）と政令市（当時は京都市、大阪市、神戸市）、整備局で、1987年（S62年）1月の創刊号から2008年（H20年）1月の第82号の21年間、季刊発行していた川の情報誌です。この度、復刊する“さらさ”は、新たに堺市にも加わって頂き、府県、政令市、整備局が持ち回りで編集事務局を担当し、手作りで発行することになります。職員の手作りによるため、以前のように綺麗に仕上げることはできませんが、近畿らしく面白い内容にすることをモットーに、時には夢のある情報も発信していきます。



“さらさ”創刊号(右)と、休刊前の82号(左)

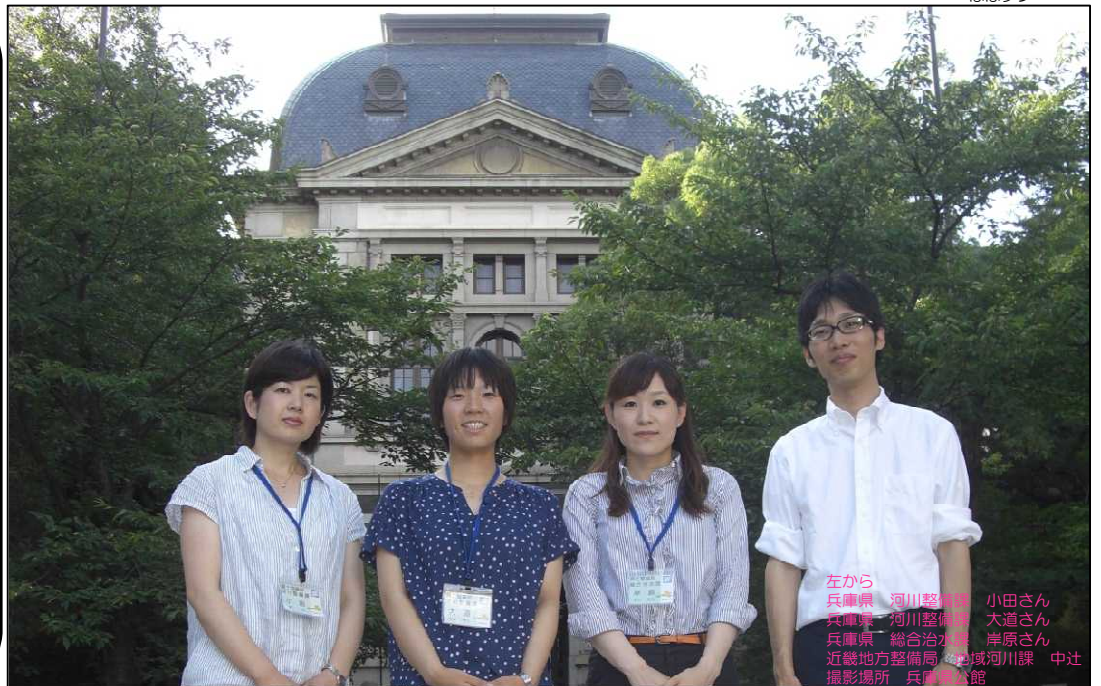
『この職場には団結力がああります』



特集 **土木の職場で働く女性たち** in 兵庫県 近畿地方整備局 河川部 地域河川課 中辻 忠

兵庫県マスコット
はばたん

「女性でも土木の仕事は出来る。」と話す兵庫県庁の岸原さん。小学生時代に経験した阪神・淡路大震災でインフラ整備の重要性を体感し、就職先は迷わず土木を選択した。今や珍しい存在では無くなった土木系女性職員に、その実態についてインタビューしました。



左から
兵庫県 河川整備部 小田さん
兵庫県 河川整備部 大道さん
兵庫県 総合治水課 岸原さん
近畿地方整備局 地域河川課 中辻
撮影場所 兵庫県公館

■この春、兵庫県庁に就職した大道さんにお聞きします。県庁に就職した理由を教えてください。

大道さん 大学で一度県外に出た経験からです。進路を決める際、自分の生まれ育った兵庫県が恋しくなり、県内での就職を希望しました。また、生まれ育った地域のために仕事をしたいと思い県庁を選びました。

■なぜ、土木を仕事にしようと思ったのですか？

大道さん 元々ものづくりに興味がありました。土木の仕事は、道路や橋など身近で大きなものを作ることができる、夢のある仕事だと思い土木の道に進みました。

■仕事の感想を聞かせて下さい。

大道さん 担当する業務のうち水防の仕事は、県民を洪水から守る役割を担っていると知り、とても重要な仕事だと感じています。災害が起こった時、夜を徹して県庁職員が働いていることをもっと知って欲しいですね。

■土木事務所を経験された岸原さんにお聞きします。男性が多い職場で困ったことはありませんか？

岸原さん 私は高専だったので、男性が多いのが当たり前で、就職してからも特段違和感はありません。土木自体、男性職員が多い職場ですが、周りの理解もあるので問題はないですね。部署の違いは関係ないと思いますよ。

■小田さんは事務職だと伺っていますが、今まで土木に関わったことはありますか？

小田さん 実は今回初めて土木に関わっています。以前は福祉関係に携わっていました。正直、わからないことだらけですが、

自分に何が合っているかはやってみないとわからないので、いろんなことにチャレンジしたいと思っています。

■他の部署と仕事での雰囲気は違いますか？

小田さん 全然違いますよ。土木は独特だと思います。皆さん団結力があって、行動力があって、明るい印象です。

■飲み会も違いますか？

小田さん 男性が多いので上品な店には行かないですね。(笑)

三人 残念です。
岸原さん 県庁の周りのお店が多いので、帰りに立ち寄る職員が多いですね。私もよく誘われます。

■土木の男性職員の印象は？

小田さん 女性に優しいと思います。活気があって、行動力のある人が多いと思います。

大道さん 土木の女性は少ないので、皆さん優しくしてくれます。

岸原さん 前にいた土木事務所では新人で入り、土木の女性職員が私一人だったので、ちやほやされましたね。今は…。

■土木の職場で働く女性のことを「どぼじょ」と呼ぶそうですが、知っていますか？

大道さん 私は大学に入って知りました。学校に「どぼじょ会」という女性学生の交流会がありましたよ。

岸原さん 私は知らなかったです。「どぼじょ」って響きが全然かわいくないですね。

小田さん 私はかっこいいと思います。理系女子は無条件ですごいと思いますよ。

■職業病ってありますか？

小田さん 気象情報は気になりますね。こちらに来てから、6時間後の天気をチェックするようになりました。

大道さん 私もパソコンのお気に入りには気象庁を入れました。

岸原さん 私は、堤防の植生具合とか、多自然護岸に目が止まりますね。また、無意識に河川の水位を気にしてしまいます。



緊張した面持ちで県庁を訪問

■阪神・淡路大震災の思い出を聞かせて下さい。

岸原さん 私の家は姫路で、揺れはあまり大きくありませんでした。しかし、テレビに映る神戸の街並みを見て、インフラ整備の重要性を感じ、土木への興味を持ちました。そのため、進路選択の時も迷わず土木を選びました。

大道さん 私はまだ小さかったので、直後のことはあまり覚えていません。ただ、兵庫県の小学校では震災学習のカリキュラムがあって、当時の状況を勉強してきたので、少なからず進路選択に影響はあったと思います。

岸原さん 県民にとって避けては通れない出来事だと思います。神戸にいますと、当時の経験を語る方がたくさんいるので勉強になります。県庁職員からも、当時は這ってでも職場に来て災害対応したと聞いています。

■台風、ゲリラ豪雨による水害が多く発生していますが、最近の取り組みを教えてください。

岸原さん 昨年、総合治水条例を策定し、現在は県民局を中心に、地域に応じた計画を立案しているところです。理念だけでは無く、民意も反映しながら一緒に取り組みを進める必要がありますが、「考え方の枠だけでは地域に根付かない。」と、県民の方から厳しい意見をもらっています。

■河川整備の悩みを聞かせて下さい。

岸原さん 国の事業の規模と差があり、取り組み内容の足並みが揃わないところがあることですかね。例えば外来種対策など、県でも国の取り組みに付いていければ良いのと思うこともありますが、管理河川も多いので、なかなか手が回らないのが現実です。ただ、一般の方にとっては国も県も関係ないので、お互いに協力出来れば良いですね。

■今後やってみたいことは何ですか？

小田さん 私は土木事務所の実態がわからず、仕事上、戸惑

うことがあります。せっかく土木にふれあう機会を得たので、一度土木事務所に行ってみたいですね・・・逆に土木から抜け出したい気持ちもあります。（笑）

大道さん 私も早く土木事務所に行きたいです。ものが出来上がる喜びを感じたいですね。

岸原さん 皆さん最初に担当した工事は忘れないと言います。私も担当した現場を通ると、ついつい自慢してしまいます。

大道さん 「どぼじょ」はきっと、それに憧れているんですよ。

■最後に、今後就職する女性職員にアドバイスをお願いします。

岸原さん 土木は女性でも活躍できる仕事です。最近は女性職員が増えてきたので、どんどん入ってきて欲しいです。人数が多いだけで心強いですし、励みになります。土木は女性でも活躍できる仕事だと思います。

大道さん 女性が少数だから面白い面もあります。女性職員どうしの結びつきも強いですよ。

小田さん 働く環境は良いと思います。待遇も変わらないので、心配せずに入ってきて欲しいです。当然のように育休もとれますし。仕事に笑い声が聞こえるのが特徴ですね。良い意味でフランクだと思いますし、みんな言いたいことを言い合える職場だと思います。

岸原さん こてこての土木だけでなく、幅広い仕事に携われるのは県庁の楽しみですね。他部署との連携が必要なこともあるので、土木以外の仕事も勉強できますし、自分次第でいくらでも世界が広がる仕事だと思います。

貴重なお時間ありがとうございました。今回のインタビューで、インフラ整備を通じて県土を守る強い意思が伝わってきました。また、震災を経験し、防災事業に対して県職員の意識が高いことも印象に残りました。



水防本部をお借りしてのインタビュー。終始和やかムードで談笑する場面も。兵庫県マスコットの「はばタン」も登場しました。

河川整備課 小田涼子さん



事務職の小田さんは、初めて土木の職場で勤務。今まで経験した他部署と比べて、土木は連帯感があると賞賛。

総合治水課 岸原みゆきさん



地域総合治水推進計画を担当。実効性のある計画作りに奮闘中。「土木でも女子力は忘れたくない」と力説。

河川整備課 大道香理さん



河川整備事業を担当。上司に恵まれ職場環境は良好とのこと。ソフトボールで鍛えた体力には自信あり。

みなさんは「はばタン」をご存知ですか？ 「はばタン」は平成18年度、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」のPRマスコットとして誕生しました。その後、「ひょうご観光大使」第1号として、「兵庫の元氣」を全国に発信しています。グッズ販売も行っているのですが、「兵庫の元氣」を是非持ち帰ってください。

阪神・淡路大震災以降も台風被害等の自然災害が絶えない県土ですが、土木局では安全で安心して暮らせる県土の構築を目指して日々まい進しています。昨年には、総合治水条例を制定し、行政と県民が一体となって、治水対策に力を入れています。

最後に、兵庫県はみなさまの御越しをお待ちしています。



大道さんより

メッセージ



神宮式年遷宮

三重県 県土整備部 河川・砂防課 山田 正志

1. 伊勢神宮

“一生に一度はお伊勢参り”と言われる、伊勢神宮。「伊勢神宮」と一般的には呼ばれていますが、「神宮」が正式な名称で、内宮と外宮を中心とする 125 宮社の総称です。内宮には、あらゆる命を育む太陽の神様である天照大御神が祀られています。

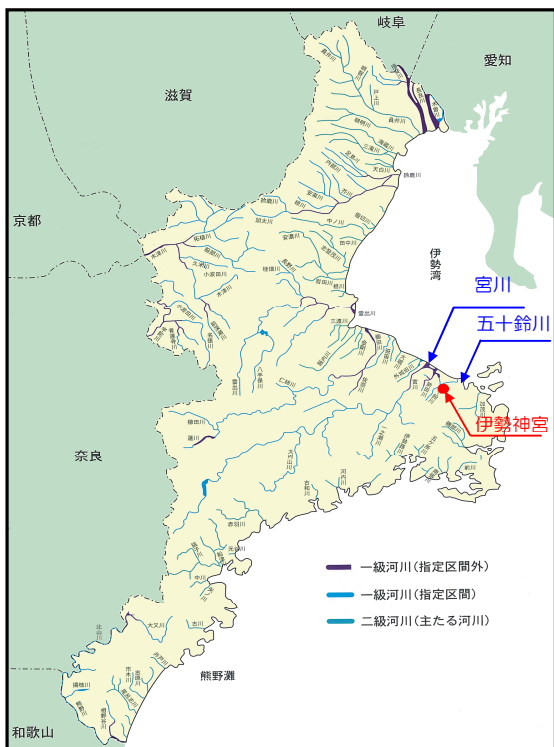


図-1 伊勢神宮の位置図

2. 式年遷宮

今年で 62 回目を数える式年遷宮は、20 年に一度、現在の社殿の隣に新たに社殿を造り替えるという、神宮では最大・最重要なお祭りです。約 1300 年前の飛鳥時代から受け継がれており、30 の祭典や行事があります。

3. お白石持行事

ここでは、式年遷宮行事の中で、川との関わりがある「お白石持行事」を紹介します。この行事は、新しい神殿の建つ敷地に敷き詰める「お白石」を神領民（遷宮行事に奉仕する人）が奉納する式年遷宮の完遂を目指す最も重要な行事です。式年遷宮最後の行事「遷御の儀」に先立ち、7～9 月に行われますが、こ

の行事は新しい敷地に自ら運んだお白石を奉納できることから、神領民にとって、大変誇らしい行事だそうです。

白石は神様の庭石に見合うように、条件がいくつか決められています。握りこぶしくらいの大きさの光沢のある石英で適度に角張っているものが望ましいとこの条件に合う白石は奈良県との県境にある大台ヶ原山を源とし、伊勢市地先で伊勢湾に注ぐ、宮川で拾い集められます。

この白石は木製のソリに載せて、五十鈴川の中を曳かれ、神宮に奉納されます。

五十鈴川では、平成 18～19 年に社殿を造営するため木曾から切り出した檜の大木を運ぶ「お木曳行事」も行われました。

4. さいごに

御神体が新しい正殿へ引っ越しする「遷御の儀」は、内宮では 10 月 2 日に行われ、初参りは 10 月 6 日朝 5 時からです。「お伊勢参り」で真新しい正宮へ参拝し、清々しい気持ちになってはいかがでしょうか。



写真-2 お白石を木ソリに載せ、五十鈴川を進む川曳



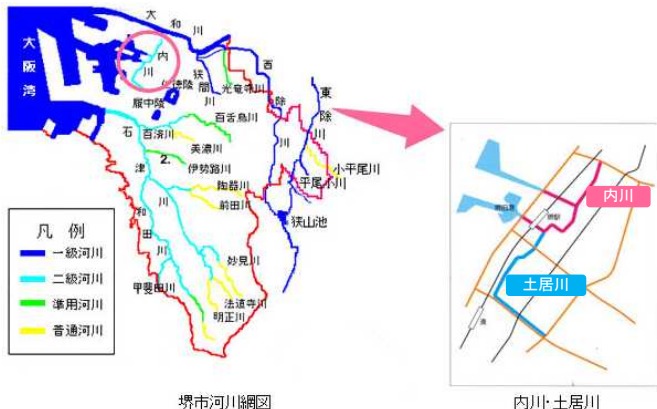
写真-3 赤福餅の表面の模様は五十鈴川のせせらぎを表現しているといわれています。

環濠都市・堺の面影を残す内川・土居川

堺市建設局 土木部 河川水路課 小川 未央

1. はじめに

堺の中心部を流れ、二級河川に指定されている内川・土居川。大阪湾に流入し、流速や水位が潮の干満の影響を受けて変動する感潮河川です。



2. 内川・土居川の歴史

中世、堺が日本一の海外貿易港として栄え、巨万の富を築いた商人たちが堺のまちを守るためにめぐらせた濠が、土居川の始まりです。しかし、豊臣秀吉によって濠は埋められ、また、大阪夏の陣で堺のまちは焼け野原となります。江戸幕府は、堺のまちは基盤の目状に区画し、その周りに濠をもう一度掘りなおしました。これが現在の土居川です。

その後、大和川の付け替えによって堆積した土砂で、港は浅くなり、海岸もだんだんと埋まり、河口には新しい土地ができました。港や海岸が埋まったことから、土居川の水が海へ流れなくなったため、昔の海岸線沿いに濠を掘っていきました。これが現在の内川です。

こうして土居川と内川はつながり、堺の四方を囲む環濠となりました。

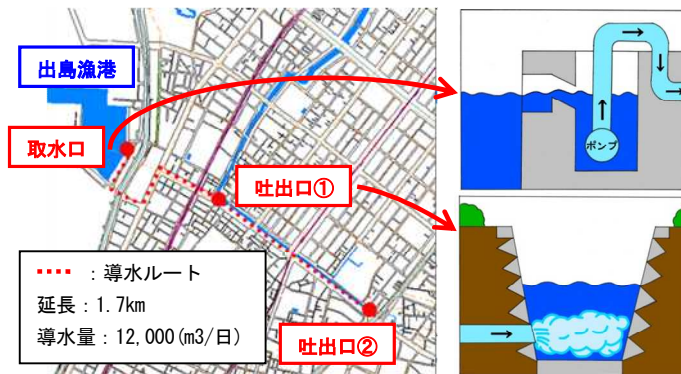
昭和40年代初め、内川・土居川は北側と東側が埋められ道路になりました。また、産業の発展や人口増加により、工場排水や生活排水が流れ込み、川の水は真っ黒に汚れ、ヘドロが溜まり悪臭がし、かつての清らかで豊かな内川・土居川の面影は失われました。

3. 水環境の再生へ ～土居川海水導水事業～

本市では、かつての清らかで豊かな内川・土居川の水環境に再生するための施策の一つとして、平成23年度から海水導水事業を実施しています。

(1) 事業概要

土居川は、その形状が屈曲しているため、中・上流域において潮位による水の交換がスムーズでないことから、水中下層部の酸素が不足しやすい環境となります。そこで、土居川近傍に位置する出島漁港から中・上流域2箇所にて海水を導水することにより、水環境の改善を図っています。



(2) 事業効果

下層のDO値^{*}をみると、導水前は水温が上昇し始める春季から夏季にかけて、土居川の全域において2mg/Lを下回り、秋以降も下回る期間が続くことがありました。導水後は、導水前と比較して下回る期間が短くなっており、特に海域から遠い最上流部である吐出口②では顕著に効果が現れています。

4. おわりに

環濠都市地区にあたる旧市街地は、貿易都市、自治都市として繁栄した堺の面影を残す由緒ある寺社、町並み、茶の湯文化、刃物・線香などの伝統産業といった歴史文化に恵まれています。なかでも、土居川近くにある南宗寺の境内には、なんと徳川家康のお墓が！なぜ？と思われた方は、ぜひ堺のまちを訪れてみませんか。周囲を土塀で囲まれた静かな境内で、お茶と和菓子を楽しみながら、歴史の意外なミステリーに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

^{*}水中に溶存する酸素のことであり、清浄な水ほどその濃度は高く、汚濁された水で極端に濃度が低いと生物が息できず、悪臭を発したり川床が黒ずんだりする。

第19回みんなのかっぱ教室を開催しました！！

奈良県 県土マネジメント部 河川課 松本 邦宏

川の生物を観察すれば、川の水質も一目瞭然！！夏休みの自由研究にも最適！みんなで観察しながら博士に教えてもらおう！

奈良県では、平成9年度から、毎年「みんなのかっぱ教室」を開催しています。このイベントを通じて、大和川水系の河川環境の現状や問題点を考えるきっかけとなることを目指しています。今年度も「みんなのかっぱ教室」を7月21日（日）に、明日香村国営飛鳥歴史公園の中にある野外ステージ「あすか風舞台」にて開催しました。当日は、118名という多くの方々が参加してくださいました。当日の様子を簡単にご紹介します。

最初に、奈良県河川課長による開会の挨拶で、「第19回みんなのかっぱ教室」が始まりました。



写真1:開会の挨拶（奈良県河川課長）



写真2:「開会式」会場の様子



まず、大和川博士による講座です。大和川を汚す原因の一つである生活排水のこと、どうしたら少しでも、生活排水が川に流れていく量を減らせるのかを楽しく、お話してもらいました。



写真3:大和川博士による水質改善講座

続いて、環境科学博士の谷幸三先生をお迎えし、みんなで飛鳥川に入って生物観察です。実は谷先生、人気番組である「探偵ナイトスクープ」にもたびたび登場するユニークなキャラクターで人気の先生です。

みんなで歩いて川に移動した後、スタッフから生物を捕まえるための道具を受け取り、川に入ります。気温は高かったですが、木陰で涼しく、何より川の水は冷たくて気持ちいい！と子ども達も大喜びでした。谷先生から石の下や草の根元によく生物がいると教えてもらい、暑さも忘れてみんな生物を探すのに夢中です。短い時間でしたがいろいろな種類の生物を見つけることができました。

お昼ごはんを食べた後は、先ほど見つけた生物について谷先生の講座です。



写真4：リバーウォッチング（飛鳥川）

みんなで、川に入って調べた生物をまとめた結果、下表のようになり、川の水は「きれいな水～少し汚れた水」と判定されました。

表：リバーウォッチング調査結果

きれいな水	サワガニ（多）、ヘビトンボ（5）、ニッポンヨコヘビ(5)、ヒゲナガカワトビケラ（3）		
少し汚れた水	ドンコ（2）、カワヨシノボリ（多）、卵塊（2）、カワムツ（多）、オニヤンマ（5）、コヤマトンボ(3)、アメンボ(5)、コオニヤンマ（1）、カワニナ(5)、ヌマガエル(2)		
汚れた水	ビロドイシビル(1)	大変汚れた水	イトミミズ(1)

※（）内の数字は発見した生物の個体数

また、現地の水や、飛鳥川下流の水、しょう油が混じった水などがどれだけ汚れているのかを比較するために、COD（化学的酸素要求量）の簡易試験も行い、皆さんの関心を集めました。



写真5：環境科学博士 谷先生による講座

参加した子供からは、「楽しかった。また、参加したい。」「川のこともっと知りたい。」という感想や、保護者の方からは、「子供の頃、川で遊んでいたのでできるだけ川を汚さないようにしようと思った。」「親子で参加できて、より身近に川を感じることができて良かったです。」という感想がありました。生物が住みやすい環境を守るために、川をきれいにしようという意識を、子供達もずっと持ち続けていってくれることを奈良県河川課は願っており、今後もこのイベントを継続していく予定です。

これからも、1人でも多くの皆さまに参加していただき、川を考えるきっかけにしてもらえればと考えています。他にも、河川に関わるイベントを行っています。下記のホームページもご覧下さい。

奈良県県土マネジメント部河川課HP <http://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=12730>

天ヶ瀬ダム再開発事業起工式を開催

～日本最大級の水路トンネル着工へ～

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課 本村 洋介

1. 天ヶ瀬ダム再開発事業の概要

現在の天ヶ瀬ダムは、昭和28年台風13号による淀川での大洪水をきっかけに計画され、洪水調節、水道用水、発電を目的とした多目的ダムとして昭和39年に完成しました。

天ヶ瀬ダム再開発事業は、近畿2府3県を流域とする淀川水系の治水対策として、淀川水系宇治川にある既設天ヶ瀬ダムの機能を維持しながら、「洪水調節機能の強化」「水道用水の確保」「発電能力の増強」を目的に、既設天ヶ瀬ダム本体の左岸側にトンネル式放流設備を新設し、ダム機能の向上を図るものです。

トンネル式放流設備は、「流入部」「導流部」「ゲート室部」「減勢池部」「吐口部」で構成されており、全体延長約617m、減勢池部においては最大トンネル径幅約21m、高さ約26mを有し、水路トンネルとしては『日本最大級のトンネル』となります。



図-1 トンネル式放流設備概要図

2. 天ヶ瀬ダム再開発事業起工式の開催

(1) 起工式

天ヶ瀬ダム再開発事業は、平成元年に建設事業に着手し、これまでに計画、調査、設計、工事用道路等の整備を行ってきており、平成25年7月より天ヶ瀬ダム再開発事業の本体着工を迎えるにあたり、平成25年6月16日（日）に日本最大級の水路トンネルとなるトンネル式放流設備減勢池部の上部にあたる場所で起工式を開催しました。

起工式では、国会議員の方や沿川府県・自治体の首長、地元関係者など多数の来賓の方々の出席のもと、最初に祝辞・祝電をいただき、式典の最後には「鍬入れ式」「くす玉開披」を行い、本体工事に無事着工できたことに感謝するとともに、今後の工事の安全を祈念しました。また、式典会場内に事業内容を紹介するための広報展示スペースを設け、事業紹介パネル、完成イメージを映像化したVRCG（バーチャル・リアリティ・コンピューター・グラフィック）の上映、トンネル式放流設備の模型を展示し、多くの出席者の興味を引き付け、好評を得ることが出来ました。

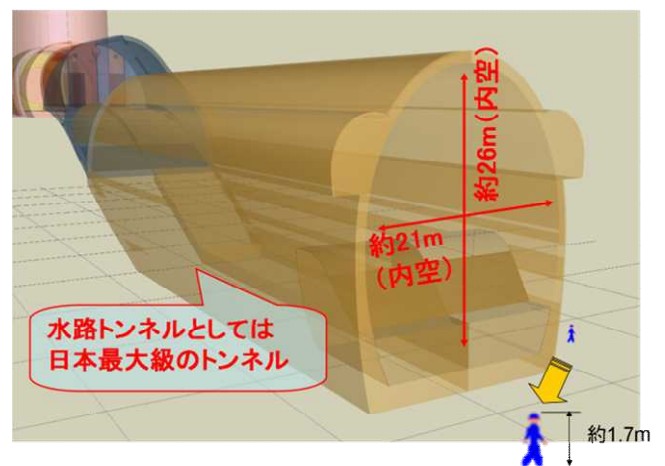


図-2 減勢池部のイメージ



写真-1 鍬入れ式・くす玉開披式



写真-2 模型展示

(2) 職員手作りの起工式

今回の起工式は、起工式当日の約2ヶ月前に開催が決定され、準備期間が非常に短い中でのスタートとなったことから、式典会場の確保、招待者への案内、式典のシナリオ作り、式典の会場レイアウト（壇上配置、配席等）、司会を含めた当日のスタッフを全て職員自らが行うこととなりました。

式典に関しては素人であったこともあり、起工式の準備をスタートしてからは、連日夜遅くまで残って、準備作業に励みました。式典のシナリオから式典を運営するスタッフまで全てを職員で行うため、関係職員を集め、リハーサルのための練習まで行いました。

起工式開催の数日前には台風3号が発生したため、ギリギリまで開催が心配されましたが、開催に向けた連日の労が報われたのか、当日は晴れやかな空の下、練習の成果もあり、無事に開催することができました。

終了後には、起工式に携わった事務所職員及び近畿地方整備局内からの応援職員全員で記念撮影を行い、お互いの苦労を労いました。今回、起工式に向けて一致団結したことで、事務所職員の絆がより一層強まった気がします。

最後に、無事起工式を成功させることができたのも、裏方としてご活躍いただいた事務所職員及び近畿地方整備局内からの応援職員みなさんのおかげと感謝しております。

天ヶ瀬ダム再開事業の早期完成に向け、関係者一丸となり、より一層気を引き締めて、事業を進めていきたいと思っております。



写真-3 リハーサル風景



写真-4 スタッフ全員による記念撮影

きりめ 切目川ダム定礎式を開催

～地域の暮らしをまもる切目川ダムの完成に向けて～

和歌山県 県土整備部 河川課 田原 俊嗣

1. 切目川ダム建設事業の概要

切目川は、和歌山県の中央部、日高郡^{いなみ}印南町を東西に流れる二級河川で、上流山間部では穿入蛇行が発達し、中流から下流にかけては、兩岸にまとまった耕地と集落が広がる河川です。

切目川流域では、これまで、台風や大雨による洪水被害や農業用水が不足するなどの渇水被害を度々受けており、住民生活に大きな支障を来してきました。

このため、県では洪水被害の軽減、水道用水の確保及び河川維持流量等の確保を図るため、切目川河川総合開発事業にて、切目川ダムの建設を実施しています。

- ・事業箇所 日高郡印南町^{たかくし}高串地内
- ・事業期間 平成3年度～平成26年度（予定）

・ダムの諸元

形 式：重力式コンクリートダム
洪水調節方式：自然調節方式
堤 高： 44.5m
堤 頂 長：127.0m
総貯水容量：396万m³
有効貯水容量：341万m³

- ・総事業費 約159億円



図-1 切目川ダム完成イメージ図

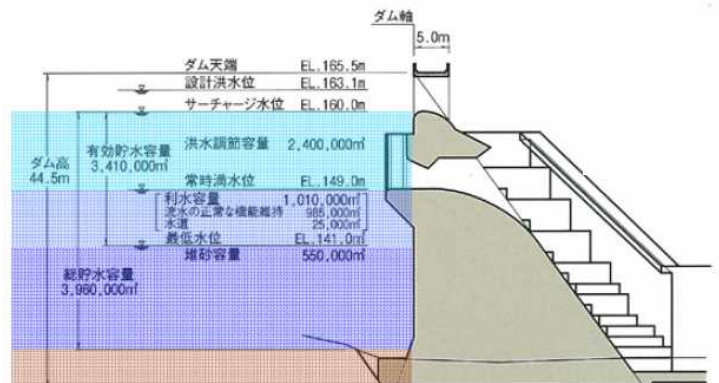


図-2 切目川ダム標準断面図

※) EL.: 標高のこと。elevation の略

2. 切目川ダム定礎式の開催

平成25年6月2日（日）、切目川ダム建設現場（印南町^{たかくし}高串）において、定礎式を行いました。

定礎式とは、ダムの本格的な築造に際し、礎石を納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願する式典です。

当日は和歌山県知事、印南町長をはじめ、国会議員の方や県会議員、地元の方々、国、県、町、工事関係者など約280人の出席のもと開催しました。



写真-1 切目川ダム全景（定礎式当日）



写真-2 定礎式会場全景



写真-3 清流小・中学生によるコーラス



写真-4 鎮定(ちんてい)の儀
礎石を固めるためモルタルを礎石の基礎に入れる儀式
工事を進める道をつけるという意味がある

式は、地元、清流小学校・清流中学校の生徒らによるコーラスで始まり、冒頭、仁坂和歌山県知事は、「この定礎式を迎えるにあたり、ご努力、ご協力して下さった方々に心から感謝申し上げたい。」と式辞を述べ、引き続き日裏印南町長の挨拶、来賓の祝辞の後、定礎の儀である「鎮定(ちんてい)の儀」・「斎饗(いみこて)の儀」・「斎榎(いみつち)の儀」が執り行われました。

また、清流小・中学校のみなさんの思い思いの願いが書かれた「願い石」が据え置かれた後、「埋納(まいのう)の儀」にて、バケツからコンクリートが放出されると、くす玉開放、万歳三唱で定礎を祝いました。

工事はこれから最盛期を迎えることとなりますが、安全対策に万全を期して、平成26年度末の完成を目指します。



写真-5 斎饗(いみこて)の儀

礎石の周りのモルタルを「こて」で均し固める儀式
鎮定の儀でつけられた道を均すという意味がある



写真-6 斎榎(いみつち)の儀

「木榎」で礎石の四隅を打ち据える儀式
斎饗の儀でつけられた道を更に強固にするという意味がある



写真-7 願い石の据置(清流小・中学生)



写真-8 埋納(まいのう)の儀(コンクリート打設)
2015年 紀の国わかやま国体キャラクター「きいちゃん」も一緒に定礎を祝いました。

日野川五大引堤の完成

近畿地方整備局 福井河川国道事務所 工務第一課 上平 拓弥

1. はじめに

日野川五大引堤は、一級河川九頭竜川水系日野川の流下能力向上のために、福井市四十谷町から下市町の安竹地区、三郎丸地区、大安寺地区、深谷地区、下市地区の五地区において実施した引堤事業です。1987年(昭和53年)の事業着手から35年にわたる歳月を経て、2013年(平成25年)5月末に完成しました。

2. 日野川五大引堤事業の概要

九頭竜川の支川日野川の下流部は、川幅が狭く蛇行していたため、洪水が流れにくく、過去から洪水被害に見舞われ、特に1953年(昭和28年)の台風13号による洪水では、右岸三郎丸地区の堤防決壊により、浸水家屋17,000戸、浸水面積1,700haに及ぶ甚大な被害が発生しました。これらを踏まえ、昭和53年から、日野川下流部の五地区において、川幅を広げ、流下能力を向上させる引堤事業を実施してきました。

事業途中の2004年(平成16年)には福井豪雨が発生し、日野川支川の足羽川で破堤による甚大な被害が発生したことから、足羽川の水をスムーズに下流に流すために、足羽川が合流する日野川の深谷地区、三郎丸地区について、直轄河川激甚災害対策特別緊急事業として採択し、整備を一層加速してきました。

工事概要としては、築堤の総延長が9,320m、河道掘削の総量が434万m³であり、本事業に伴って明治橋(一般県道本郷福井線)や日光橋(一般県道殿下福井線)の架替、檜原排水樋門や深谷排水機場の改築などを実施しました。



図-1 九頭竜川流域図

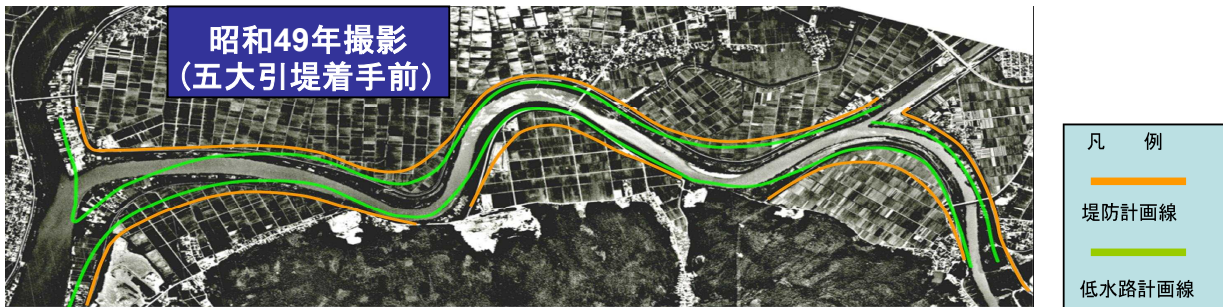


図-2 日野川五大引堤事業計画平面図

五大引堤の完成により、九頭竜川合流点での流下能力は 2,200m³/s から 4,300m³/s に拡大し、仮に 1953 年(昭和 28 年)の台風 13 号と同様の洪水が発生したと想定した場合、三郎丸地区(3.8km)での水位は引堤事業実施前の水位から約 1.8m 低下し、水位低減の効果は五大引堤事業実施区間の上流までおよぶことになります。

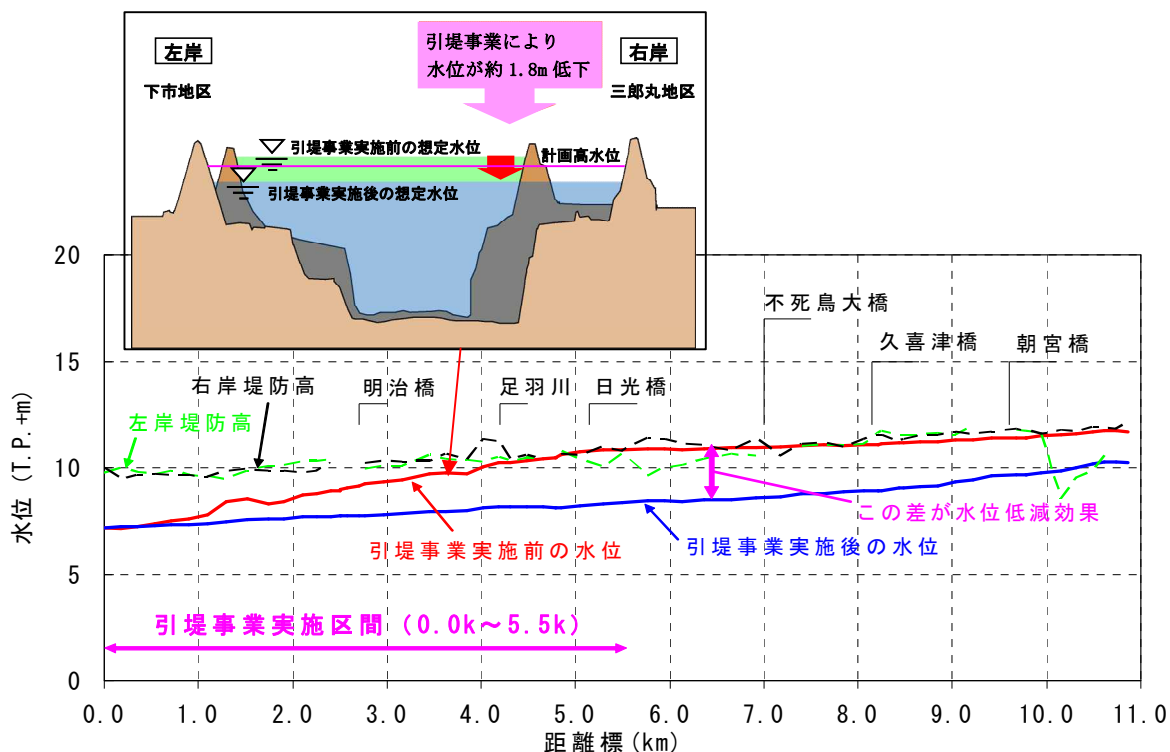


図-3 五大引堤による水位の低減効果(日野川・国管理区間)
※S28年洪水に対する効果

3. 完成式典・記念セレモニーの概要

2013 年(平成 25 年)6 月 9 日に行われた完成式典及び記念セレモニーは、福井市防災ステーション及び日野川河川敷において、地元自治会長の皆様を始め、国会議員、福井県、福井市、関係行政機関等の出席者約 200 名が参加して執り行われました。



写真-1 記念植樹



写真-2 バルーンリリース

4. おわりに

日野川五大引堤の完成を迎えることができましたのも、地権者の皆様をはじめとした地域の皆様方、並びに多くの関係者の皆様に、長年にわたり事業の推進にご協力頂いたおかげであり心より感謝申し上げます。今後とも、地域の安全・安心の確保のため、九頭竜川・日野川の改修事業を推進して参ります。

大門ダム完成

奈良県 県土マネジメント部 河川課 松本 和大

1. はじめに

大門ダムは、奈良県が生駒郡三郷町立野地内の一級河川大和川水系実盛川支川大門川に建設した生活貯水池で、平成3年に建設事業に着手しました。以来、用地取得を進め、平成21年10月にダム本体工事に着手、平成24年11月には試験湛水を終え、平成25年6月5日に完成式典を行いましたので、ダムの概要とあわせて報告します。

2. ダムの概要

奈良盆地を流れる大和川水系は、四方の山々から流れ出した水が扇の形のように大和川本川に合流し、下流の大阪府域へ流れる地理特性を有しているため、ひとたび大雨が降れば洪水が起こりやすい特徴を持っています。このことを原因として昭和57年8月、大和川の破堤などにより約1万2千戸もの家屋が浸水するという大水害が発生しました。奈良県では、この大水害を契機に国や流域市町村と連携しながら大和川流域総合治水対策に着手し、その一つとして大門ダムが完成しました。

大門ダムが建設された大門川は、奈良県生駒郡三郷町と平群町の町境に位置しており、その源を生駒山系高安山付近に発して信貴山の南を流下し実盛川に合流する流域面積約0.6km²、流路延長約2.0kmの一級河川です。実盛川は大門川を合流したのち、三郷町の市街地を経て大和川へ合流します。

実盛川は、急流のため古くからたびたび河岸の決壊や氾濫が発生し、昭和57年8月は死者1名、損壊家屋9戸、浸水家屋40戸に至る被害を受け、地域の方々から抜本的な治水対策が望まれました。

また、実盛川は三郷町の上水や耕地に対する水源として利用されており、取水地点より下流の市街地貫流部では流量が非常に少なく、河川維持用水確保のための新たな水源の確保も望まれていました。

このように、治水はもとより、河川の正常な機能の維持を目的としてダムの建設が進められました。以下、ダムの機能及び諸元を紹介します。

◇洪水調節機能

ダム地点の計画高水流量16m³/sのうち、10m³/sの洪水調節を行い、実盛川沿川地域の被害を防ぎます。

◇流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の河川環境を保全するため、年間を通じて、大和川合流点付近の河川流量を、日量350m³程度確保します。また、日量約290m³の上水道用水を安定的に確保します。

ダムの諸元は、堤高35.4m、堤頂長122.0m、堤体積26,700m³、総貯水容量177,000m³の自然調節方式の重力式コンクリートダムです。

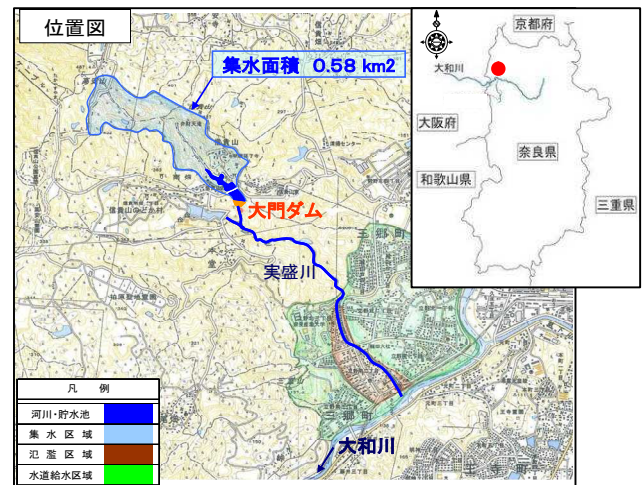


図1:大門ダム位置図



写真1:大門ダム本堤

3. ダムの特徴

大門ダムが位置する信貴山周辺地域は、豊かな自然環境に恵まれた金剛生駒紀泉国定公園内にあり、また、聖徳太子によって創建されたと伝えられる朝護孫子寺、国の登録有形文化財に登録されている開運橋など、豊かな歴史文化遺産と自然環境を有し、昔より門前町として栄えている地域です。

また、ダム本堤から約100m上流のところに、約880年前に築造されたと伝えのある大門池がありました。この大門池は地域の貴重な水辺として良好な景観を形成していましたが、堤体の老朽化が著しく、近年の調査では震度5弱の地震で破堤の可能性が指摘され、安全なダムの建設が急がれました。

このため、大門ダムの本体や管理棟の設計にあたっては、自然環境への影響の評価や県が設けた「構造物意匠審査会」での審査など景観面からの配慮も検討し、ダムの早期完成を図りました。



写真2：堤体左岸側よりダム湖を望む

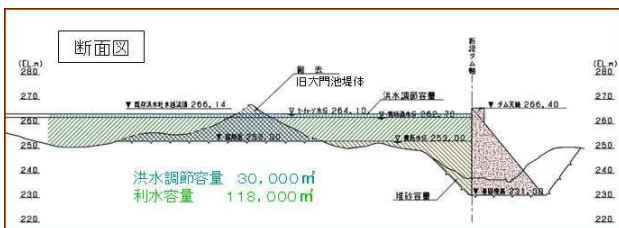


図2：断面図（大門ダム、旧大門池）

4. 完成式典

完成式典は、国土交通省、国会議員、奈良県知事、奈良県議会、平群町長、三郷町長、地権者、地元関係者、工事関係者など約80名の出席により、6月5日にダムサイトの管理棟前の広場で行いました。

式典では、主催者の奈良県知事の挨拶に続き、奈良県郡山土木事務所長が事業報告を行い、国土

交通省水管理・国土保全局次長をはじめ来賓の皆様から祝辞をいただきました。

続いて、来賓及び関係者による「テープカット・久寿玉開き」、三郷町立南畑幼稚園児による「風船飛ばし」を行い大門ダムの完成を祝い、その後、地域の今後の発展の願いを込めて信貴山朝護孫子寺修験道会による「ほら貝吹鳴し」で式典を締めくくり、晴天のもと活気と笑顔に包まれたまま式典は無事に終了しました。



写真3：完成式典の様子

5. おわりに

今後、完成したダムを資源として、ダム敷きに遊歩道や憩いの広場等を整備するとともに、春の桜・秋の紅葉など四季折々の彩りが感じられる植栽を行い、奈良県の主要な観光地である信貴山一帯の魅力を一層高め来訪者の増加および地域の活性化を図っていくこととしております。

最後に、大門ダムの建設に当たり、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様、国土交通省をはじめご指導、ご支援をいただいた関係者の皆様、事業の実施へのご理解とご協力をいただいた地域の皆様に心よりお礼申し上げます。



図3：植栽のイメージパース

“大地の川”と“天の川”

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 今須 重明

1. “さらさ”復刊御礼

「“さらさ”を復刊させたいと思うのですが…」と整備局から府県、政令市にお誘いの言葉を掛けさせて頂いた時に、何人かの方から返ってきた言葉は、「私、若い頃“さらさ”を担当していました」でした。“さらさ”は、近畿管内の各府県（三重県含む）と政令市（当時は京都市、大阪市、神戸市）、整備局で、1987年（S62年）1月の創刊号から21年間、季刊発刊していた川の情報誌です。かく言う私も若い頃は“さらさ”を担当しており、2008年（H19年）1月を最後に休刊した“さらさ”復刊を心待ちにしていたひとりです。復刊にあたってご協力頂いた方々に、先ずは御礼申し上げるとともに、再び休刊とならないように、しっかりと見守らせて頂きます。

2. “さらさ”の命名は?!

名は体を表すと言われるように、読者の目を引きつけるネーミングは重要です。“さらさ”は清らかな川の流れや、そこで遊ぶカワガキ（絶滅危惧種？）を連想させるなど、川の情報誌には相応しい名前だと思っています。また、復刊に際しての説明も“さらさ”と言うだけで、多くを語らずともその内容を理解して頂けたことから、河川行政担当者にはそれなりのブランド力もあったのかなと思います。

と言うことで、“さらさ”命名の由来を探ると、1987年（S62年）の創刊号の巻頭に「“さらさ”命名まで」と題して、次のような記事がありました。

▶♪～春のお小川はさらさら行くよ～♪オルガンのドミソに合わせて歌う小学生の私達。

「これ、昨日、あそこの川で採って来たザリガニや」「うわあ大きなあ。さわらして」「あかん。見るだけや」なんて教科書の影でヒソヒソ話を腕白坊主。

「もう。うるさいなあ。ごそごそしなや」ふりかえって、眉をひそめてみたりするものの、本当は会話に加わりたかった私。

（中略）

▶“かわの情報誌”の命名に苦心する編集部。「やっぱ目立たなくっちゃ」で、覚えやすい、少し変わっている、少しふざけている名前がいいな…て、口をついて出たのが「さらさ」

▶さらさら流れる故郷河川。大河川も上流はさらさら。水はさらさら、川はさらさら流れて世の中和…。なんてイメージが伝わったでしょうか。

でも、流れ来るかわの情報（誌）は、さらさら手元で受けとめてください。

多分、多くの方もそう思われていたかもしれませんが、♪～春のお小川はさらさら行くよ～♪の歌声が、そしてカワガキ経験が“さらさ”命名の由来でした。

でも、中には「♪～笹の葉はさらさら～♪」と思ってたわ」との声も。「七夕さまは星空や。川とは天と地で真逆やろ」との突っ込みに「天の川ちゃうんけ」。

うむ?!そう言えば7月7日を「川の日」と制定したのは七夕伝説の「天の川」のイメージがあることからでした。

復刊する“さらさ”は、新たに堺市にも加わって頂き、府県、政令市、整備局が持ち回りで編集事務局を担当し、手作りで発刊することになります。以前のように綺麗に仕上げるには限界がありますが、自然豊かで力強い「大地の川」の話題だけでなく、「天の川」のようなロマンチックで夢のある話題も、是非、情報発信して頂きたいと思います。

3. 次世代の川づくりのための情報発信

そうした情報を発信して頂くためにも、今回、各府県・政令市からは、若手の方を中心に編集担当者になって頂きました。“さらさ”の目的は、府県、政令市と整備局が河川、ダム、砂防、海岸等の水行政に関わる情報共有を密にすることにより、悩みや苦勞、新たな発見等を共有し、更なる太いパイプを構築し、連携を深めることです。そのために次世代の川づくりを担う多くの河川行政担当者の方々への様々な情報発信ができればと思っています。編集担当者の方々、どうぞよろしくお願ひ致します。

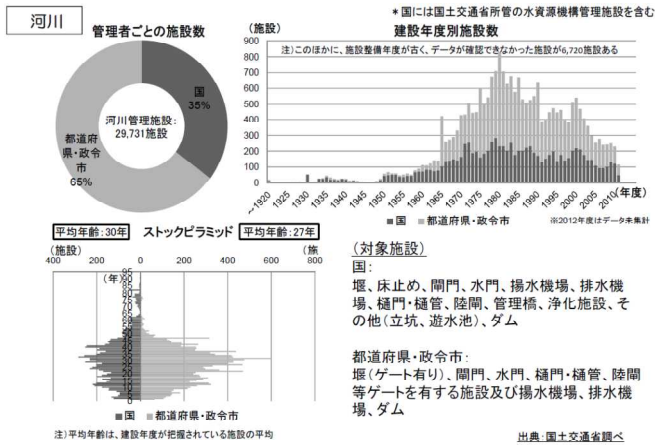
府県、市町村への維持管理に関する技術支援体制の充実

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 西村 信彦

1. 社会資本施設の老朽化等に対する懸念

国土交通省が所管する道路や河川、砂防、ダムなどの社会資本施設は、地方公共団体が管理しているものの方が多く、その多くが1965年（S40年）頃からの高度経済成長期に集中的に整備されています。

また、建設年度が古くデータが確認出来ないこと



から、建設年齢が不明の施設も多くあります。今後は、こうした施設の急速な老朽化が懸念されます。

昨年12月に発生した中央道笹子トンネル事故等を踏まえて実施された緊急点検では、日常点検、定期点検では把握されていない要対策箇所も明らかになりました。また、施設の中には点検が未実施で劣化や損傷の状況が不明な施設があることも確認されました。

2. 社会資本の維持管理・更新

このような状況の中、国土交通省では、国民生活や経済の基盤である社会資本が的確に維持されるよう、本年を「社会資本メンテナンス元年」として、「社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置(2013年(H25年)3月21日)」をとりまとめ、様々な施設の老朽化対策に総合的かつ重点的に取り組んでいくこととしています。

当面講ずべき措置の一つとして、「2. 現場を支える制度的な対策」の中に「地方公共団体への支援」を掲げており、「地方公共団体が管理するインフラの施設数は数が多く、厳しい財政状況や限られた人員等の中でも老朽化対策に懸命に取り組む地方公共

団体への支援が重要である」として、財政的な支援と体制的な支援を推進することとしています。

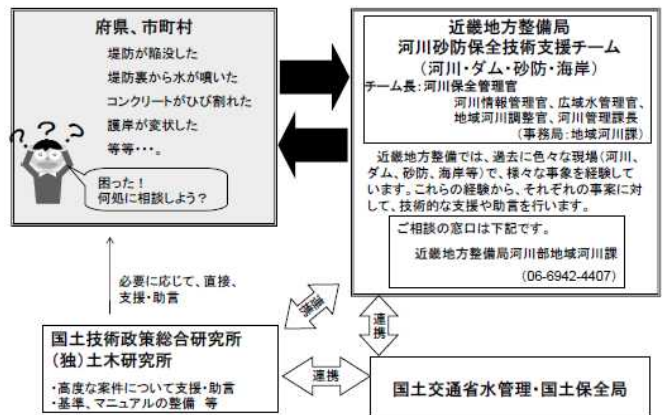
この中の体制的な支援に対する対応として、「自治体等からの個別の技術相談に関し、地方整備局等の窓口機能等を強化・拡充」を図ることとしています。

3. 技術支援チームの設置と相談窓口の開設

これを踏まえ、近畿地方整備局河川部では、府県、市町村に対して、河川、ダム、砂防、海岸分野に関する技術的課題等の相談を一元的に受ける、「近畿地方整備局河川砂防保全技術支援チーム」を設置し、その窓口を開設しました。

支援に当たっては、これまで整備局が各現場(河川等)で蓄積してきた知見や経験を踏まえ、案件によっては局内の他部や河川関係事務所、近畿技術事務所とも連携し技術的な助言を行います。また、必要に応じて水管理・国土保全局、国土技術政策総合研究所、(独)土木研究所とも連携して対応致します。

河川の維持管理に関する技術支援体制の充実と窓口設置について 近畿地方整備局



4. 相談受付のワンストップ化

整備局では、河川部だけではなく、道路部や港湾空港部でも個別の相談体制の整備を図っていますが、自治体への支援をより充実させるため、企画部にも老朽化対策相談窓口(06-6942-4090)が設置され、相談受付のワンストップ化を図り支援体制の強化を行っています。「様々なインフラがある中で、どこに相談したら？」と迷われましたらご利用下さい。

災害対策等緊急事業推進費について

近畿地方整備局 河川部 地域河川課 中村 大輔

1. はじめに

自然災害による被害が発生した場合には、迅速に再度災害防止対策等を図ることが、住民の安全・安心の確保を図る上で重要です。災害が発生した際には、年度途中であっても、迅速な対応を可能とする制度として、災害対策等緊急事業推進費（以下、推進費）という予算制度があります。

この予算制度は、近畿では福井豪雨や台風23号、そして全国的には新潟・福島豪雨や新潟中越地震などの自然災害が多発した2004年（H16年）の翌年に、被災地域における再度災害防止対策を機動的に実施するために創設されました。

2. 推進費の内容

(1) 制度の特徴

この制度の特徴は次のとおりです。

- 1) 災害復旧事業による原形復旧にあわせて、施設の防災機能の強化・向上を図ることが可能
- 2) 自然災害を受けた地域において、公共土木施設自体の被害が無い場合でも防災機能の強化・向上を図ることが可能
- 3) 年度途中に予算を配分（年3回の配分を予定）
- 4) 国庫補助率及び地方財政措置は、推進費を使用
- 5) 必要に応じて対策工事に係る用地費及補償費や測量設計費も対象
- 6) 年度内予算執行が基本であるが、明許繰越も可能

(2) 採択要件

次の1)～3)のいずれかを満たすものが対象です。

- 1) 降雨により発生した災害（24時間雨量が80mm以上、又は1時間雨量が20mm以上）
- 2) 強風により発生した災害（最大風速が15m/秒以上）
- 3) その他の異常な自然現象により発生した災害で、被害の程度が比較的軽微と認められないもの

3) その他の異常な自然現象により発生した災害で、被害の程度が比較的軽微と認められないもの

(3) 推進費配分要求

推進費は、原則、年間3回の配分が予定されており、4月から10月上旬まで随時要求することが可能です。なお、配分は当該年度に発生した災害が基本ですが、前年度に発生した災害も対象となる場合があります。要求に際して不明点などがありましたら地域河川課までお問い合わせ下さい。

3. 2012年（H24年）度の災害と推進費活用事例

(1) 市川水系^{ふりこ}振古川（兵庫県）

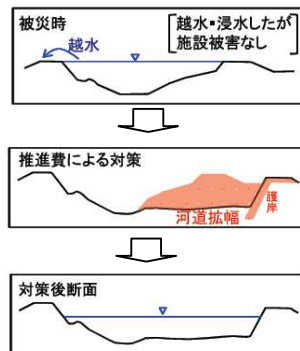
6月19日の台風4号による豪雨により、振古川において浸水面積0.4ha、床下浸水5戸の被害が発生しました。そのため、推進費を活用し、河道掘削、護岸、及び河川拡幅に伴う橋梁架替等の河川改修を実施することにより、被害の防止軽減を図ることとしています。事業費130百万円（国費65百万円）

(2) 紀の川水系和田川、日方川水系^{ひかた}日方川（和歌山県）

6月21日～22日の梅雨前線豪雨により、和田川では、床上浸水50戸、床下浸水168戸の被害が、また、日方川では、浸水面積1.6ha、床下浸水25戸、非住家浸水6戸、市道冠水700mの被害が発生しました。そのため、推進費を活用し、和田川では護岸工等の対策により、また、日方川では河道掘削、護岸を実施することにより、被害の防止軽減を図ることとしています。和田川：事業費100百万円（国費50百万円）、日方川：事業費160百万円（国費80百万円）

(3) 淀川水系^{みだじろ}弥陀次郎川（京都府）

8月13日～14日の京都府南部を中心とした豪雨により、弥陀次郎川が欠壊し、浸水面積19.4ha、床上浸水132戸、床下浸水188戸の浸水被害が発生しました。そのため、推進費を活用し、天井川を切下げ護岸等の対策を行うことで、被害の防止軽減を図ることとしています。事業費500百万円（国費250百万円）



武庫川の天然アユの産卵場づくり

兵庫県 阪神北県民局 里山・環境課 山崎 卓三

武庫川は、かつて多くのアユが生息する川でしたが、今では数が少なくなり、川底は産卵しにくい状態になっています。そこで、天然アユの再生に向けて、産卵しやすい場所づくりの参加者を募集します！

今まで実施した産卵場づくりの周辺では、以前と比べて大幅に産卵が増加したことが分かっています。

イベントは、①天然アユの産卵場づくりとして、川底を上流から下りてくるアユが産卵しやすい形状に整えることと、②武庫川に生息する生き物観察として、講師の指導により生き物の観察と採取を行い、講師に解説をしていただきます。

開催日時 平成 25 年 10 月 5 日（土） 9:30～12:00（小雨決行）

実施場所 武庫川大橋（国道 2 号線）下流付近

内 容 ①天然アユの産卵場づくり

川底を上流から下りてくるアユが産卵しやすい形状に整えます。

②武庫川に生息する生き物観察

講師の指導により生き物の観察と採取を行い、講師に解説をしていただきます。

対象者 小学生以上（ただし、小学生は保護者同伴）

定員 50 名（先着順）

参加費 無料

講師 兵庫県立大学・兵庫県人と自然の博物館 三橋 弘宗 先生

申込先 北摂里山博物館運営協議会

〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15（兵庫県阪神北県民局内）

TEL 0797-83-3114 FAX 0797-86-4314

E-mail info@hitosato.jp

主催 兵庫県阪神北県民局、北摂里山博物館運営協議会、武庫川流域環境保全協議会

協賛 武庫川漁業協同組合

参考 過去 2 年間に比較した結果では、産卵場づくりを行った箇所周辺で、産卵が大幅に増加したことが確認されています。



写真-1 アユの産卵場づくりの様子



写真-2 みんなで集合写真

イベント情報

平成25年9月～12月

エリア	イベント名	河川名	開催日	場所	問い合わせ先	概要・見どころ	交通機関
滋賀県	第7回近畿「子どもの水辺」交流会	琵琶湖	11月23日 (土・祝) 10:00～16:30	大津港～琵琶湖（大型客船「ピアンカ」、学習船「らみのこ」） (大津市浜大津5丁目1-1)	滋賀県土木交通部 流域政策局河川・港湾室 ☎077-528-4154 E-MAIL : ha04@pref.shiga.lg.jp	子どもたちに、川、池、海などの身近な水辺で、生き物や水質等の調査結果、日頃取り組んでいる美化活動や水辺づくりの成果などを発表してもらい、水辺について話し合い、学んでもらうため開催するものです。この行事を上下流・府県間規模の交流会として実施することにより、次世代を担う子どもたちの水辺活動の継続や広がりに貢献し、さらには子どもたちを取り巻く地域の方々の「水辺」への関心や愛着を高め、共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指します。 http://www.pref.shiga.lg.jp/h/kako/kankyo/kodom.html	(最寄駅) 京阪電鉄「浜大津駅」徒歩約3分 JR 琵琶湖線「大津駅」徒歩約20分
	流域治水シンポジウム	-	12月23日 (月・祝) 13:00開会	コラボしが21 三階大会議室（大津市打出浜2番1号）	滋賀県土木交通部 流域政策局流域治水政策室 ☎077-528-4291 E-MAIL : ryuiki@pref.shiga.lg.jp	県民と行政みんなが取り組む「しがの流域治水」について、参加者のみなさんと一緒に考えるため、流域治水シンポジウムを開催します。今年で7回目の開催です。滋賀県流域政策局HPでこれまでの記録を掲載しています。 http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/sinpojiumu-top.html	(最寄駅) 京阪電鉄石場駅徒歩約3分 JR 琵琶湖線膳所駅徒歩約15分 JR 琵琶湖線大津駅徒歩約20分
京都府	南山城大水害60年シンポジウム	宇治川 木津川 等	9月29日	アスピス山城 (木津川市山城町棚倉)	京都府山城広域振興局（建設部） ☎0774-62-0412 E-MAIL : yamashin-dokita@pref.kyoto.lg.jp	この60年間の3度の大水害を踏まえ、今後の防災に役立つ情報の発信と今後の防災に対する重点的な取り組みへのキックオフとする。	(最寄駅) JR 樹倉駅下車 徒歩5分
	鴨川探検！再発見！第33弾	鴨川	10月頃	鴨川（北山大橋周辺）	京都府建設交通部河川課 ☎075-414-5287 E-MAIL : kasen@pref.kyoto.lg.jp	歴史文化の学習会や自然観察会を通じて、鴨川の魅力を再発見出来ます。	(最寄駅) 地下鉄北山駅下車徒歩10分
	鴨川ジョギングロード完成イベント	鴨川	11月頃	鴨川（出町柳付近）	京都府建設交通部河川課 ☎075-414-5287 E-MAIL : kasen@pref.kyoto.lg.jp	高水敷や堤防天端を使って、連続するジョギングロードを整備するに当たり、快適な利用環境を創出し、利用者の増加・拡大を図る。	(最寄駅) 京阪出町柳駅 徒歩5分
	大野ダムもみじ祭り	由良川	11月頃	大野ダム (南丹市美山町椋原中ノ山)	京都府大野ダム総合管理事務所 ☎0771-75-0143	大野ダム周辺に植えられたもみじを活かしてイベントを開催し、町内特産品の販売や地域文化のPR活動などに取り組んでいる。	(最寄駅) JR山陰本線知駅からバスで16分
大阪府	利き水会	-	10月14日 (月・祝) 10時～15時	コア古川橋駐車場 (大阪府門真市)	大阪広域水道企業団 企画課 ☎06-6944-6864	水道水がおいしく安全であることを実感していただくため、市町村が実施するイベントなどで実際に水道水とミネラルウォーターの飲み比べを行っています。参加者には、ボトル水をプレゼントします。 ※開催日時及び場所は、現時点での予定日時及び場所であり、変更される場合があります。 URL : http://www.wsa-osaka.jp/event-pr/kikimizukai/	(最寄駅) 京阪本線古川橋駅下車すぐ
		-	10月19日 (土) 10時～	イオンモールりんくう泉南 E駐車場 (大阪府泉南市りんくう南浜3-12)			(最寄駅) ●南海本線樽井駅から徒歩約10分 ●JR阪和線泉砂川駅からバスで約12分 ●南海本線尾崎駅からバスで約12分 ●(土日祝のみ運行)南海空港線りんくうタウン駅からバスで約14分
		-	10月19日 (土) 10時～16時 10月20日 (日) 10時～16時	茨木市市民総合センター (大阪府茨木市駅前4-6-16)			(最寄駅) ●JR京都線茨木駅下車徒歩約10分 ●阪急京都本線茨木駅徒歩約10分
		-	10月26日 (土) 10時～17時 10月27日 (日) 10時～16時	池上曾根史跡公園 (大阪府和泉市池上町213-1)			(最寄駅) ●JR阪和線信太山駅下車徒歩約7分 ●南海本線松ノ浜駅下車徒歩約20分
		-	11月2日 (土) 10時～15時	熊取町総合保健福祉センター（熊取ふれあいセンター）前 (大阪府熊取町野田1-1-8)			(最寄駅) ●JR阪和線熊取駅から東へ徒歩約20分 ●南海本線佐野駅前から熊取ニュータウン行42系統バスで約15分
		-	11月3日 (日) 9時30分～15時	大東市立総合文化センター (大阪府大東市新町13-30)			(最寄駅) JR学研都市線住道駅下車徒歩約5分
		-	11月16日 (土) 9時30分～15時	大阪狭山市立総合体育館及び野球場 (大阪府大阪狭山市池之原4-248)			(最寄駅) ●南海高野線狭山駅又は大阪狭山市駅下車徒歩約30分 ●南海高野線狭山駅西口から市循環バスで約10分

大阪府	第3回「来て見て体験 in 村野浄水場」	-	11月3日(日) 10時～16時	大阪広域水道企業団村野浄水場(大阪府枚方市村野高見台7-2)	大阪広域水道企業団村野浄水場 浄水調整課 ☎072-840-5266	大阪広域水道企業団では、枚方市にある村野浄水場を開放し、浄水場の見学や水づくり体験、企業団の紹介のほか、吹奏楽部による演奏、参加団体による様々な催し物(ヨーヨー釣り・交通安全シミュレーター・ゆるキャラとのふれあいなど)・白バイ・ミニバトカー・給水車の展示(記念撮影可)など、子どもも楽しめるブースを多数出展し、地域の皆様とともに水とふれあう楽しいイベントを開催します。無料プレゼントを配布するブースもあり、イベントに関するアンケート回答者には企業団からのプレゼントもあります。入場は無料で、予約は不要です。 URL : http://www.wsa-osaka.jp/gaiyou/murano/event.html	(最寄駅) ●京阪電車交野線郡津駅 下車シャトルバス約10分 ●京阪電車交野線村野駅 下車徒歩約20分
	泉州下水道フェスティバル2013	大阪湾	10月26(土) 10時～13時	北部水みらいセンター(忠岡町新浜)	南部流域下水道事務所 企画G ☎072-438-7406	ご家庭で使った水が、水みらいセンター(下水処理場)でどのようにきれいになるか、水みらいセンターの内部がどうなっているか、楽しく体験してみませんか。また、海の生き物のことを学べるイベント『これは何だ?チリメンモンスター!』も行います。	(最寄駅) 南海本線樽井駅下車 徒歩20分
	大和川水辺の楽校	大和川	10月6日(日) 10時～12時(雨天中止)	大和川河川敷(堺市堺区香ヶ丘町5丁)	大和川水辺の楽校協議会事務局 070-5503-6261 E-MAIL : info@sakaimizube.org 堺市河川水路課 072-228-7418	水質が大きく改善した大和川で、生き物観察、水質調査などを行います。対象は小学生とその保護者で、事前申込が必要です(先着40名)。タオル、川に入れる靴など持参してください。	(最寄駅) 南海高野線「浅香山駅」 徒歩約15分
兵庫県	洲本川レガッタ	洲本川	9月8日(日) 10時～12時(荒天の場合中止)	洲本橋詰広場(洲本橋南詰)(兵庫県洲本市)	洲本川レガッタ2013実行委員会 大会事務局 ☎090-8565-6365(島田)	平成16年に災害を受けた洲本川水系において、災害からの復興を記念し、洲本市内の高等学校3校のポータ部並びに一般参加チームによる洲本川レガッタを開催します。 URL : http://sumotoregatta.blog.fc2.com/	洲本バスセンター 徒歩7分
	武庫川の天然アユ産卵場づくり	武庫川	10月5日(土) 9時30分～12時	武庫大橋(国道2号線)下流付近(兵庫県尼崎市・西宮市)	北摂里山博物館運営協議会 ☎0797-83-3114	①天然アユの産卵場づくり(川底を上流から下りてくるアユが産卵しやすい形状に整えます。) ②武庫川に生息する生き物観察(講師の指導により生き物の観察と採取を行い、講師に解説をしていただきます。) URL : http://hitosato.jp/	(最寄駅) JR甲子園口駅下車徒歩15分
	千種川圏域清流づくり委員会秋イベント(源流探訪・ブナ林観察)	千種川	10月27日(日) 10時～14時	ちくさ高原スキー場入り口付近(兵庫県宍粟市千種町西河内)(予定)	西播磨県民局光都土木事務所 企画調整担当 ☎0791-58-2229 Eメール : satoo_moriyasu@pref.hyogo.lg.jp	清流千種川の源流を探訪し、ブナ林で覆われた山々が清流をつくる源となっていることを直に見ることで、河川愛護を深めていただきます。	中国自動車道 山崎ICからちくさ高原スキー場入り口付近(宍粟市千種町西河内)まで車で約1時間
	洲本川ウォーク	洲本川	11月中旬 10時～12時(雨天中止)	洲本川沿川(兵庫県洲本市)	淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当 ☎0799-26-3221	復興した洲本川の魅力を再発見し、ふるさとの川をいつまでも大切にする契機となることに期待します。また、ポータ競技を広く知っていただきます。	(最寄駅) 洲本バスセンター 徒歩10分
	はげおに 樋谷川まつり	樋谷川	9月7日 14時～17時 ※雨天中止	栃木東多目的グラウンド及び河川敷(兵庫県神戸市西区樋谷町)	樋谷川愛護協議会 西区樋谷連絡所 ☎078-991-1001	ステージイベント、水辺教室、クリーンウォーク、うなぎのつかみ取り、各種模擬店、消防団による一斉放水等のイベント予定	(最寄駅) 地下鉄西神・山手線西神南駅下車徒歩30分

※予約が必要なものもありますので、事前に問い合わせ先やホームページ等でご確認のうえお越し下さい。

ご当地掲示板 ～かわの情報発信施設～

ご存知ですか??

川の駅『はちけんや』

・はちけんやの紹介

はちけんやは、H21年に水辺のにぎわいを作り出す新しい拠点として大阪府の大川沿いに誕生しました。その一角にある展示スペースでは、大阪府と連携して琵琶湖・淀川等の情報発信を行っています。昨年は「ゲリラ豪雨展」、「魚道展」、「紀伊半島大水害復旧の現場から」を実施し、多くの方々に来場いただきました。また、魚道展についてはNHKのニュースでも紹介されました。

・今年度の予定

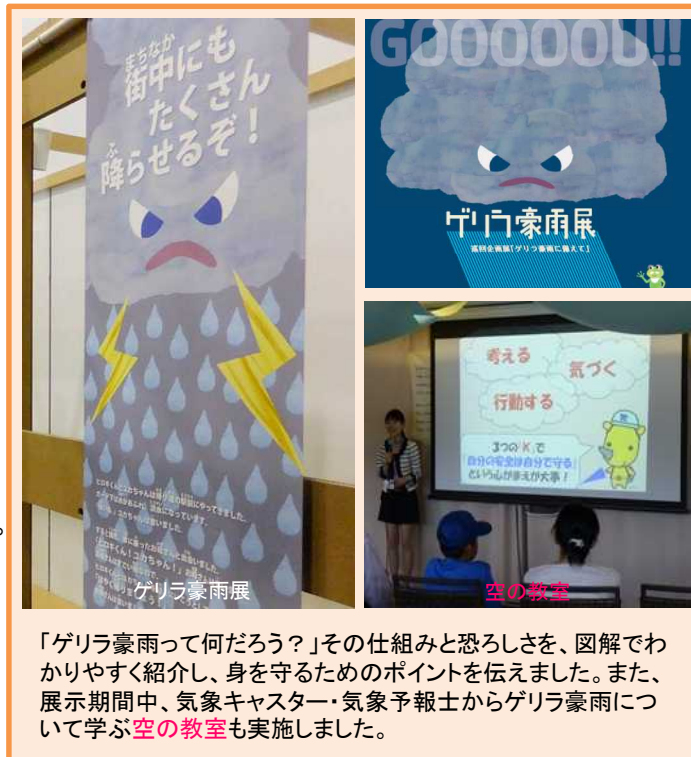
はちけんやでは、今年も様々な情報発信を行います。12月～1月には雨といきもの展。2月には淀川舟運展を開催予定です。みなさん是非一度はちけんやにお立ち寄りください。

アクセス

●京阪「天満橋駅」

11番出口または17番出口から徒歩すぐ

●地下鉄谷町線「天満橋駅」2番出口から徒歩5分



「ゲリラ豪雨って何だろう？」その仕組みと恐ろしさを、図解でわかりやすく紹介し、身を守るためのポイントを伝えました。また、展示期間中、気象キャスター・気象予報士からゲリラ豪雨について学ぶ空の教室も実施しました。

ゲリラ豪雨展 平成24年7月31日～9月13日



生物の生息地をつなぐ魚道は川の環境保全の観点から重要です。一般の方になじみのない魚道について映像、模型、パネル等の展示を通じてわかりやすく紹介しました。

魚道展 平成25年2月5日～2月28日



平成23年9月大風12号による豪雨で、紀伊半島は大規模な災害に見舞われた。災害復旧の状況伝えることにより、改めて被害の大きさを紹介しました。

紀伊半島大水害復旧の現場から

紀伊半島大水害復旧の現場から 平成25年1月11日～2月4日

編集後記

「さらさ復刊号」と題し編集を務めさせていただきました。投稿していただいた方々においては、お忙しい中ご協力ありがとうございました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

編集を終えてほっとするとともに、日常業務では得られない貴重な体験をさせていただき感謝しております。編集過程で「誌面がかたく、面白くない。」といった意見に頭を悩ませましたが、府県・政令市の皆さんのお力添えに助けられ復刊に至ることが出来ました。

さらさでは地域のイベント、事業紹介等の情報発信を随時お待ちしております。復刊した『かわの情報誌「さらさ」』を末永くご愛顧よろしくお願いいたします。

編集担当 近畿地方整備局 河川部 地域河川課 中辻 忠

2013年9月2日NO.83秋号さらさ復刊号

編集・発刊：三重県、福井県、滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県
国土交通省近畿地方整備局

問い合わせ：国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
大阪市中央区大手前1丁目5-44 TEL(06)6942-1141